



# 北海道

Hokkaido Tourism Organization

## 観光レポート

2021年  
令和3年9月30日発行

秋号



宿泊者数、来道者数ともにコロナ禍前の  
2019年に比べ依然として厳しい。

トピックス 令和2年度道内観光産業の経済効果について

編集コラム 北海道の修学旅行について

### ■お知らせ

これまで、年4回発行して参りました北海道観光振興機構広報誌『HTOプレス』は、今回、内容を刷新し「北海道観光レポート」に名称を変更して、皆さまに情報をお届けします。(発行回数はこれまでと同様の年4回(春・夏・秋・冬)で変更ございません。)

# 北海道の延べ宿泊者数実績

2021年6月

○北海道における2021年(令和3年)6月の延べ宿泊者数は、109万人泊となり前年同月比+15.8%であった。コロナ禍前の2019年(令和元年)6月と比べると-64.6%で依然として厳しい状況にある。

○内、日本人の延べ宿泊者数は全国の伸び率よりも低くなっている。

○居住者別(道内・道外)では、道外居住者は前年6月よりも増加(24万人泊→42万人泊)した。一方で、道内居住者は、前年6月とほぼ横ばい(65万人泊→63万人泊)であったが、新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり、4月から減少が続いている。

○外国人延べ宿泊者数は、2千人泊で前年同月比-45.8%(2019年同月比-99.7%)となり、引き続き厳しい。

○都道府県別順位では東京都に次いで北海道が第2位(3位:大阪府、4位:神奈川県、5位:千葉県)となっており、他の都府県と比較すると高い水準にある。

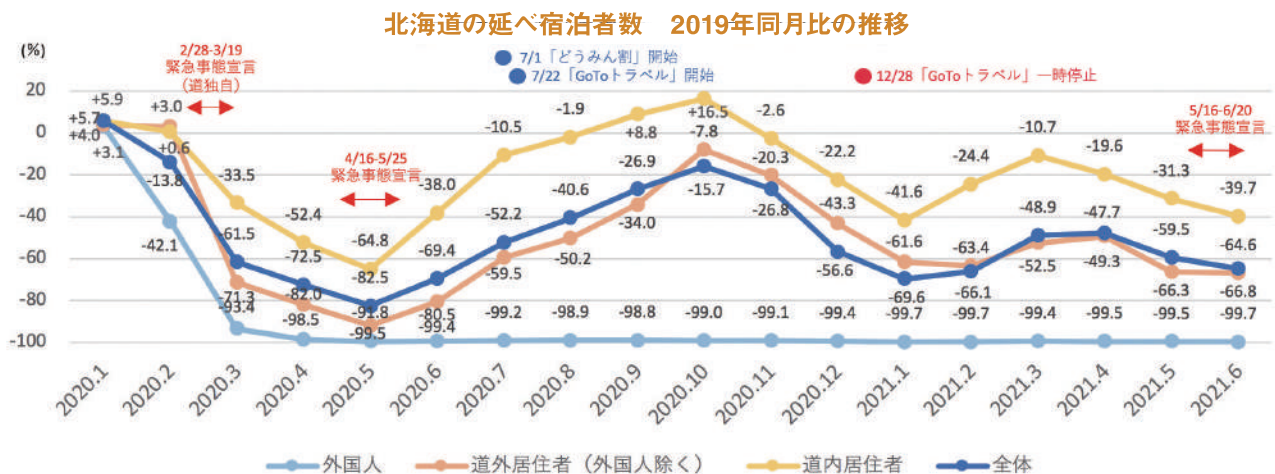
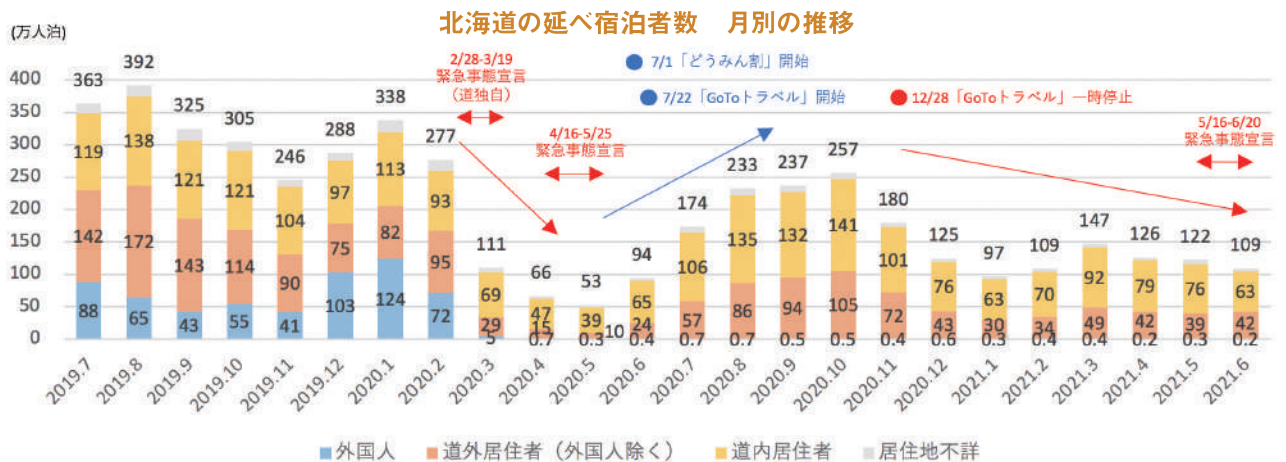
○月別の推移では、昨年の9月や10月のようにどうみん割やGoToトラベルの一定の利用により全体を押し上げ、特に道内居住者の宿泊について前年を上回る月もあった。

○2019年同月比の推移では、道内居住者は道外居住者よりも落ち込みが少なく、今後の感染状況や国の観光需要喚起施策等の取組如何にもよるが、当面はこのような状況が続くと予想される。

## 延べ宿泊者数データ(2021年6月第2次速報)

(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2021.6	1,092,270	1,090,210	2,060	19,596,640	19,351,720	244,920
2019同月比	-64.6%	-55.3%	-99.7%	-57.2%	-46.6%	-97.4%
前年同月比	+15.8%	+16.0%	-45.8%	+24.2%	+24.2%	+22.2%



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成。  
注1:2021年は1月~6月の速報値。

# 来道者輸送実績

2021年7月

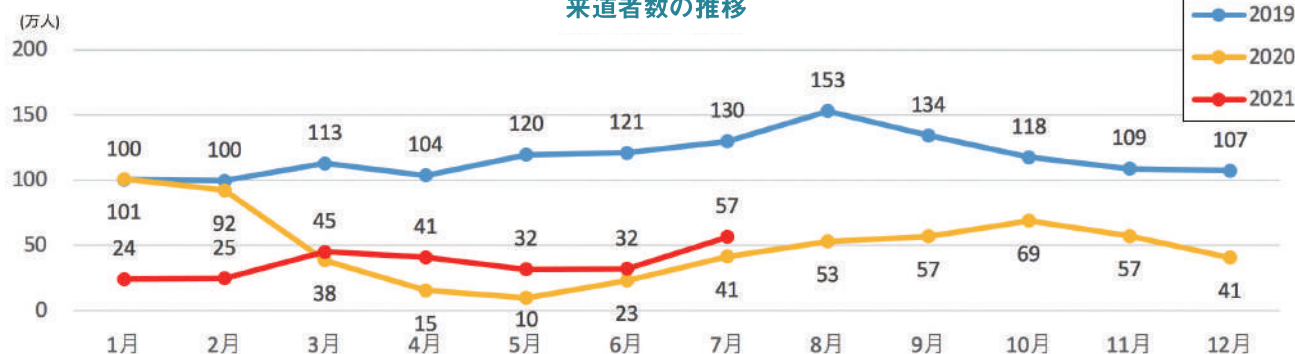
- 2021年7月の来道者数は56万6千人となり、前年同月比+36.5%であった。月間で50万人を超えたのは昨年11月以来で、全体的に回復傾向にあるもののコロナ禍前の2019年7月と比べると-56.5%で依然として厳しい状況にある。
- 輸送機関別の来道者数は、航空機が47万5千人と全体の84%を占め、フェリーが6万2千人(11%)、JRが2万8千人(5%)であった。
- 発地空港別の来道者数は、関東が30万5千人と全体の64%を占め、次いで関西7万6千人(16%)、名古屋3万9千人(8%)、東北2万9千人(6%)となり、中国・四国を除く発地空港で前年同月を上回った。特に北陸・信越・東海(+63.8%)、関西(+48.0%)からの来道者の伸び率が高くなっている。
- 着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が37万9千人と全体の80%を占め、次いで函館3万人(6%)、旭川2万4千人(5%)、女満別1万3千人(3%)、帯広1万2千人(3%)、釧路1万2千人(3%)となり、全ての着地空港で前年同月比を上回った。特に女満別(+71.6%)、旭川(+64.6%)、函館(+54.6%)への来道者の伸び率が高くなっている。

## 来道者輸送実績(輸送機関別)

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
2021.7	565,602	474,913	28,200	62,489
2019同月比	-56.5%	-57.3%	-65.4%	-41.5%
前年同月比	+36.4%	+39.3%	+38.2%	+16.9%

来道者数の推移



## 来道者輸送実績(発地空港別)

(単位:人)

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2021.7	29,077	305,445	8,154	39,070	75,854	2,037	15,276
2019同月比	-60.6%	-58.2%	-69.0%	-51.1%	-50.0%	-84.9%	-54.1%
前年同月比	+23.1%	+38.6%	+63.8%	+41.8%	+48.2%	-0.8%	+39.0%

## 来道者輸送実績(着地空港別)

(単位:人)

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2021.7	379,207	29,594	24,255	12,141	11,545	13,320	3,684	971	196
2019同月比	-56.9%	-56.0%	-56.7%	-60.7%	-56.4%	-59.2%	-61.2%	-68.6%	-95.7%
前年同月比	+34.8%	+54.6%	+64.6%	+34.1%	+44.1%	+71.6%	-	+10.8%	-

出典:「北海道観光振興機構来道者輸送実績調査」をもとに作成。

### 今号の注目!

### 北海道への旅行者はどこから来ている? ～北海道への旅行者の居住地上位10都道府県～

2021年7月の北海道への旅行者は北海道が1位、東京都が2位、神奈川県が3位であった。

新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年3月から今年5月まで道内旅行者が50%を超えていたが、今年6月からは40%台となり、北海道外からの割合が高い傾向にある。

順位	都道府県	構成比	順位	都道府県	構成比
1位	北海道	40%	6位	愛知県	5%
2位	東京都	15%	7位	千葉県	4%
3位	神奈川県	7%	8位	兵庫県	3%
4位	大阪府	6%	9位	京都府	2%
5位	埼玉県	5%	10位	宮城県	1%

出典:「V-RESAS、観光予報プラットフォーム推進協議会」(2021年9月8日に利用)をもとに当機構作成。



# 令和2年度道内観光消費額の調査結果 (経済波及効果)

北海道観光振興機構では、道内観光産業の経済効果や道内を訪れる観光客の満足度を把握するため、令和元年度から調査を実施しております。今回、令和2年度の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

## 【令和2年度・北海道観光産業経済効果調査推計結果】

- 総観光消費額は、前年度の1兆5,159億円から4,354億円と大幅に減少。(対前年比28.7%)
- 総観光消費額が減少したことに伴い、経済波及効果(生産誘発額)は、前年度の2兆1,910億円から6,364億円に減少。(対前年比29.0%)
- 税収効果(道・市民税(個人・法人含む))は、前年度の606億円から161億円に減少。(対前年比26.6%)
- 観光GDPは、前年度の7,814億円から2,276億円に減少。(対前年比27.3%) (※観光産業における雇用誘発効果(新規)は、実態経済(新型コロナウイルス感染拡大)において雇用調整が進んでおり参考値とした。(令和2年度は約6.2万人、令和元年度は約21万人))

## 調査概要 令和2年度北海道来訪者満足度調査

- 目的:道内における観光による消費規模の実態及び観光消費がもたらす北海道経済への波及効果を分析し、観光産業の活性化及び(観光)振興を図るための基礎データとして活用する。
- 方法:道内主要観光地及び交通拠点(102か所)で面接聴取(※道内、道外客合計3,226サンプルを取得。)内訳:道民(1,566)、道外客(1,660)。新型コロナ対策のためQRコードによるWEB回答も導入。
- 項目:プロフィール(居住地、年代、職業、年収)、旅行形態(日程、人数等)、旅行内容(消費額、観光ルート等)、期待度・満足度等。
- 時期:3期に分けて調査(1期:令和2年10月、2期:12月、3期:令和3年2月)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響について:GoToトラベル事業、どうみん割、市町村独自割引などに伴う旅行及び旅行先での補助(割引・地域共通クーポン券など)の消費額に対する影響も加味している。

### 《上記の内容で調査を実施した結果、下記の消費額を算出》

消費額(一人当たり単価、内訳:交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費、その他)単位:円

年度	道内客		道外客	外国人
	日帰り客	宿泊客		
R2年度	6,012	26,985	67,733	
R元年度	8,120	32,594	70,773	138,778
増減	△2,108	△5,609	△3,040	△138,778

※訪日外国人観光客は調査期間中、入国制限中のため、調査未実施。  
 ※本消費額単価は、アンケートで回答を得た単純集計による消費単価ではなく、パッケージ料金に含まれる飲食、宿泊、交通費などの道内留保分も含めた「経済波及効果(推計)」に用いる最終投入単価の数値である。

出展資料:令和2年度北海道来訪者満足度調査(北海道観光振興機構)

## 1 総観光消費額(※前回調査(令和元年度)との比較)

四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

■道内観光総消費額		道内客				道外客	外国人	合計	
		年度	日帰り客	宿泊客	その他				合計
A	年間観光客数(推計) 単位:万人	R2年度	2,545	464	90	3,099	211	0	3,310
		R元年度	3,629	972	268	4,869	607	312	5,788
		増減	△1,084	△508	△178	△1,770	△396	△312	△2,478
B	道内観光消費額単価(推計用調整値)1人 単位:円	R2年度	6,012	26,985	15,853	-	67,733	0	-
		R元年度	8,120	32,594	15,853	-	70,773	138,778	-
		増減	△2,108	△5,609	0	-	△3,040	△138,778	-
C	道内観光総消費額(A×B) 単位:億円	R2年度	1,530	1,252	143	2,925	1,429	0	4,354
		R元年度	2,947	3,168	425	6,540	4,296	4,323	15,159
		増減	△1,417	△1,916	△282	△3,615	△2,867	△4,323	△10,805
構成比(%)		R2年度	35.1%	28.8%	3.3%	67.2%	32.8%	0.0%	100.0%
		R元年度	19.4%	20.9%	2.8%	43.1%	28.3%	28.5%	100.0%

※年間観光客数の推計方法について

令和2年度第1~3四半期(4~12月)は、北海道経済部観光局が令和3年5月27日に発表した、令和2年(2020年度)第3四半期観光入込客数調査を用いて試算。未公表の第4四半期については、道内客分は第3四半期までの数値を、道外客分は交通機関の輸送実績(来道者数)等を参考に推計値を設定。

## 2 観光による経済波及効果(※前回調査(令和元年度)との比較)

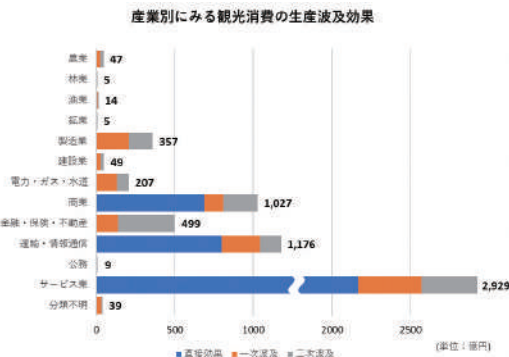
### (1) 観光総消費額4,354億円による経済波及効果の推計結果

項目/年度	令和2年度	令和元年度	前年度比(%)
経済波及効果 (生産誘発額) 単位: 億円	6,364	21,910	29.0%
税収効果 (単位: 億円)	161	606	26.6%
観光GDP (単位: 億円)	2,276	7,814	29.1%
新規雇用者誘発数 (単位: 万人)	6.2	21	29.5%

※経済波及効果は、観光消費による直接効果3,658億円(道内客2,429億円、道外客1,229億円)と、第一次間接効果1,351億円(道内客899億円、道外客452億円)、第二次間接効果1,356億円(道内客896億円、道外客460億円)の合計額からなる。

※観光GDPとは、観光客が購入した財貨・サービスの付加価値額であることから、第6回北海道観光産業経済効果調査(平成29年5月北海道経済部観光局発表)と同様、直接効果による粗付加価値誘発額として求められている。

### (2) 産業別に見る観光消費の生産波及効果(6,364億円)



※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

### ■新型コロナウイルス感染拡大による影響について

今回、調査を実施した令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う旅行自粛期間にも重なり、GoToトラベル事業やどうみん割、自治体等による旅行需要喚起策等が実施されたにもかかわらず、道内での総観光消費額が大幅に減少し、経済波及効果(生産誘発額)、税収効果、観光GDPなど、全ての指標において、対前年比30%を下回る推計結果となった。観光産業における消費活動は、道内のサービス業や、運輸・通信業、商業、製造業など様々な産業に幅広く波及しており、同年度の総観光消費額の大幅な減少は、地域経済にとって大きな損失であると言えます。

## 北海道来訪者満足度調査から見た、新型コロナウイルス感染拡大の影響について

今回、北海道来訪者満足度調査を、令和2年9月から令和3年2月まで実施したが、新型コロナウイルス感染拡大により過年度との傾向の変化などで際立った項目のみ抽出し考察を行った。(以下、参照)

- ①旅行者の年齢について:60歳以上(高齢者)の旅行者が減少。  
(道内客17%(令和元年度)→12%(令和2年度)、道外客17%(令和元年度)→15%(令和2年度))  
※想定要因:旅行中の感染を回避するため、旅行そのものを手控えた。
- ②旅行するメンバー:道内客は夫婦(パートナー)による旅行が大幅に増加。  
(27%(令和元年度)→42%(令和2年度))  
※想定要因:旅行中の感染を回避するため、身内だけで行動した。
- ③訪問先:「札幌」への訪問が大幅に減少。  
(道内客35%(令和元年度)→21%(令和2年度)、道外客65%(令和元年度)→51%(令和2年度))  
※想定要因:札幌市内の新型コロナウイルス感染拡大、GoToトラベルなどの需要喚起策での札幌市内除外等の影響により、他地域への訪問割合が増加。
- ④宿泊日数:道内客は減少傾向 平均1.98泊(令和元年度)→1.71泊(令和2年度)  
道外客は増加。平均3.68泊→4.52泊(4泊以上が22%(令和元年度)→30%(令和2年度))  
※想定要因:GoToトラベルなど需要喚起策により、これまでより少し長い間道内に滞在した。
- ⑤宿泊施設の種類:道内客は観光ホテル・旅館への宿泊が増加(46%(令和元年度)→60%(令和2年度))
- ⑥道内での移動手段:自家用車・レンタカーの利用が増加(77%(令和元年度)→86%(令和2年度))  
※想定要因:「密」を回避するため、公共の交通機関を避け、「車」を移動手段とした。
- ⑦旅行の同行者:道外客の一人旅が増加(道外客28%→40%。平均人数3.3人→2.0人)
- ⑧来道経路(道外客):リピーター客が大幅に増加(72%(令和元年度)→84%(令和2年度))  
※想定要因:道内各地が、「密」を避ける最適地であることを知っているため。
- ⑨消費額:道内客日帰り客で対前年26%減少(買い物代2,953円→1,924円▲34.8%)  
※想定要因:コロナ禍でネットショッピングが増加したとともに、コロナ禍で人と会う機会が減ったためお土産の需要が低下した。  
道内宿泊客の交通費が、対前年29.6%減少(8,719円→6,135円)  
※想定要因:「密」を避けるため、自家用車、レンタカーの利用が多かった。

### コロナ禍で、令和3年度通常総会を開催。

6月28日、札幌プリンスホテルにおいて令和3年度通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大により、出席者の安全と健康の確保の観点から、会員の皆様には書面決議若しくは、委任状の提出を要請し、議長と議事録署名人による最小規模での開催となりました。なお、審議事項は全て承認されました。



令和3年度通常総会

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

#### 広域観光部

### 道内各地で「新たな旅のスタイル」の普及・促進

8月23日に、石狩・後志・渡島・上川・オホーツク・釧路地域の観光関係者向けに、オンラインによるワーケーションの誘致、受入に向けたワークショップやセミナーを開催。当日は、(一社)日本ワーケーション協会から専門家をお招きし、ワーケーションを受け入れるにあたっての地域が最低限準備すべきこと等を中心に講演をいただき、参加者と熱心に意見が交わされました。



ワークショップの様子

#### 国内誘客部

### 宿泊事業者感染防止対策等支援事業の事務局を開設

北海道が実施する「宿泊事業者感染防止対策等支援事業」の管理運営業務を当機構を含む4社(コンソーシアム)で受託し、このほど7月に事務局を開設。



開設した事務局の様子

新型コロナウイルス感染防止策に取り組む際に必要な機器や備品の導入経費の一部支援を実施するとともに、ポストコロナを見据えたテレワークの環境整備、マイクロツーリズムに対応する受入環境整備等にも支援しています。(申請は8月20日で終了しています。)

#### 地域観光部

### 外国語ガイド研修がスタート

アフターコロナに備え、英語・中国語・韓国語で観光ガイドを志す方や通訳ガイド経験者の方を対象に、外国語ガイド研修をスタートしました。



キックオフレクチャーの様子

初級・上級のコースを設け、各言語全10回の授業を実施するほか、実地研修(模擬バスツアー研修)や旅行会社とのマッチングイベントも予定しています。対面での研修のほか、コロナ対策としてオンライン・オンデマンドでも受講できることから、昨年に比べ100名以上も多く申込があります。オンデマンドでの研修参加申込の期限は12月15日となっておりますので、ご興味のある方は気軽に参加願います。(参加費無料)(<https://www.ec-pro.co.jp/interpreter/>)

#### アドベンチャートラベル推進本部

### 日本が誇るアドベンチャートラベル(AT)の魅力を世界に発信!

「アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道/日本(ATWS北海道/日本)」が9月20日から開催されるにあたり、9月8日、ATWS北海道/日本キックオフ・シンポジウムが開催されました。



ATWS北海道/日本キックオフミーティングの様子

日本全国のAT関係者約600人がオンラインで繋がり、基調講演やパネルディスカッション、ATに取り組む広域DMOの発表等で日本におけるアドベンチャートラベルの拡大について議論、理解を深めました。また、これに先立ち8月30、31日にはATワールドサミットマーケットプレイス出展事業者(道内8団体、道外11団体)が、オンラインプラットフォームEventtiaに集まって、大会(バーチャル)本番に向けて、日本全国のAT関連団体ネットワーク構築のため商談会を実施しました。

#### 海外誘客部

### 欧州市場向けにSNSによる情報発信を開始

訪日旅行再開後、いち早く北海道が旅行先として選ばれるようにするため、今回、facebookとInstagram(それぞれ英語・仏語)を活用し、欧州目線で北海道の魅力を写真や動画で定期的に発信していきます。



欧州向けに新たに開設したSNS(英語、フランス語)

## 観光政策検討部会を開催

7月27日と8月23日に道内観光団体等の代表者に出席をいただき、新型コロナウイルス感染拡大による道内観光産業の企業活動継続のための施策や、需要喚起施策等の国や道への要望、北海道観光に関する次年度に向けた要望内容を議論する「観光政策検討部会」を開催いたしました。

会議では、各業界から現在の危機的な状況が報告され、要望書に記載する内容について意見が交わされました。本部会で議論された内容については、正副会長会、理事会に諮られ、国、道などへ要望として提出されます。(なお、9月3日に予定されていた第2回正副会長会、第3回理事会合同会議は、新型コロナウイルス感染拡大による3度目の緊急事態宣言の発令により、書面開催となりました。)



観光政策検討部会(8月23日)

## 北海道観光振興機構 事業活動予定

令和3年10月～12月

### セミナー、研修会、商談会等《参加者募集!!》

#### アドベンチャートラベル推進本部

#### 北海道体験型観光商談会(仮称)

日時:11月30日(火)

場所:札幌プリンスホテル国際館バミール

内容:2022年のグリーンシーズンの販促を目的とした、道内の体験観光事業者、観光関連団体と道内外の旅行会社、メディア等との商談会

申込方法:当機構会員サイトにてご案内(10月以降の予定)



昨年度の体験型観光商談会の様子

#### 地域観光部

#### アイヌ文化研修会

日時:11月中旬頃(予定)

場所:札幌市内、白老町(予定)

内容:観光ボランティアガイドやバス・タクシー乗務員などを対象にアイヌ文化の正しい理解と普及を目的として毎年、道内2か所程度で開催。

申込方法:当機構会員サイトにてご案内(10月以降の予定)



昨年度のアイヌ文化研修会の様子

#### 誘客プロモーション等の予定

#### 北海道まるごとフェアinサンシャインシティへの出展

日時:10月7日(木)～10月11日(月)(※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となる可能性がございます)

場所:東京・池袋サンシャインシティ

内容:秋冬の北海道観光のPR(GoodDay北海道LINE公式アカウント登録促進など)

#### 会議等の予定

#### 令和3年度総会・理事会等スケジュール

第3回正副会長会 11月 5日(金) 15:00～(会場未定)

第4回理事会 11月19日(金) 15:00～(会場未定)

## 新規会員ご紹介

令和3年4月～6月・新規会員

北海道観光レポートでは、新規の会員の皆様をご紹介して参ります。  
今回は、三井物産株式会社田代北海道支社長にお話しをお伺いしました。

# 三井物産株式会社北海道支社

所在地：札幌市中央区北2条西4-1  
従業員数：50名（支社内勤務者数）



田代 博支社長

### ■ 北海道での社業の沿革、体制について教えてください。

旧三井物産設立後の1880年(明治13年)に函館支店を開設、その後小樽、札幌、室蘭に出張所などを開設しました。森林資源が豊富な北海道で旧満州鉄道建設のための枕木や、当時「黒いダイヤ」と言われた石炭の供給、雑穀や豆類の欧州方面への輸出などで大きく関わりました。第二次世界大戦後の1947年(昭和22年)、旧三井物産解散後も、元社員が北日本物産を設立。1959年(昭和34年)三井物産大合同により、新生「三井物産」として再スタートを切りました。1991年(平成3年)には札幌支店が北海道支社に呼称を変更し、2004年(平成16年)までに北海道の拠点は北海道支社に集約され、現在に至ります。

現在は、鉄鋼、エネルギー、食料、モビリティやICTなど16の事業本部と、国内に11拠点(北海道は札幌)、海外132拠点(64か国・地域)のグローバルネットワークを駆使し、「変革と成長」を実現させるため、従来主力であったBtoB事業に加えBtoC分野の強化に取り組んでいます。

### ■ 新型コロナウイルスの影響について教えてください。

人の移動に関わる事業や外食関連の事業には勿論影響がありますが、流通関係が堅調に推移し、中国や米国を中心に経済活動が再開され、食料や資源(鉄鉱石、天然ガス)などで順調に推移しています。

### ■ 現在、積極的に取り組んでおられる事業について教えてください。

米国ロサンゼルスで設立された、ライフスタイル全般(Food/Travel/Homeなど)の動画を自社メディアやSNSで網羅的に配信する「Tastemade」(※1)の日本法人Tastemade Japan株式会社を2020年12月に当社は関係会社化しました。世界で月間約30億回の視聴数、約3億人以上の視聴者数を持つデジタルメディアで、マーケティングに課題を持つ地域の取引先や出資先の皆さまの支援に積極的に取り組んでいます。

デジタルネイティブと呼ばれるミレニアル世代(※2)、Z世代(※3)は文字や写真のみのメディアよりも動画メディアに強い影響を受けています。中長期的に消費の中核を担うこの世代との接点を増やし新たなビジネスを創出して行くつもりです。

トラベル部門では、京都府や北部7市町で構成される(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(通称:海の京都DMO)が丹後地方の食や景観を、沖縄県ではワーケーションの様子などを動画配信しており、国内でのSNSのフォロワー数も770万人を超えるまで成長しています。

今月(9月)には、ホクレン(ホクレン農業協同組合連合会)様とも連携し、北海道の「じゃがいも」のレシピを紹介する動画を配信する予定です。今後も、「食と観光」による魅力を様々なSNSを通して発信し道内の観光産業に大きく寄与して参りたいと思います。

(1※官民ファンドのクールジャパンファンド機構も出資 2※1980年代序盤から1990年中盤までに生まれた世代 3※1990年代中盤以降に生まれた世代)



TastemadeでのSNS配信  
『海の京都って知ってる?』  
グローバルに750万回再生超



TastemadeでのSNS配信  
940万回再生、10万いいね以上の  
ハズオンリー動画

### ■ 今後の展望について教えてください。

北海道は自然のポテンシャルはもちろんのこと、「食」の魅力は外せません。また、アイヌ文化や縄文文化など「文化」も独自の発展を遂げてきており重要なコンテンツであると認識しています。また、当社は道内に約35,000ha(ヘクタール)もの森林を有しており、間伐材を使用した木質バイオマス発電を道内3か所で運営、北海道ガス様へのカーボンニュートラルLNGの供給、芽室町や新篠津村でのスマート農業の実証取組など、北海道が抱える課題解決や、道が進める「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、様々な分野において今後も貢献すべく日々努力して参ります。



## 北海道の修学旅行について ～将来のリピーターは修学旅行から～

新型コロナウイルスの感染拡大による度重なる、「緊急事態宣言」や「まん延等防止措置」の発令は、国民が様々な形で影響を受けている。昨年は全国的には「修学旅行」が実施出来ない学校が相次ぐ中、道内の小学校・中学校では、例年5月から6月を中心に実施していたものを、7月下旬から11月に時期を延期し多くの学校で実現できた。当機構は道内の旅行会社とともに北海道庁の委託事業を受託し、コロナ禍での感染リスクの低減に取り組むための費用を支援する事務作業に関わった。

具体的には旅行会社や学校からの申請に基づき、貸切バスの乗車定員を50%以下に抑えたり（増車）、宿泊する部屋の定員を緩和する際に発生する経費の一部を支援するもので、全国的にも珍しい制度である。道内の小学校で全体の約76%、中学校で約86%が、それぞれ本制度を利用し修学旅行や宿泊研修などを実施したとみられる。（※1）

本事業を実施したことによる観光消費額は、当機構の試算でも約35億円（※2）以上あると考えられ、修学旅行が道内地域の観光産業（運輸業、ホテル・旅館業、小売業）のみならず、様々な業種（飲食業、清掃業、卸売業、食料品製造業等）に波及していることは明白なことである。

本年も、感染がいち早く終息し、修学旅行が実現できることを望むばかりである。

一方で、道内に訪れる修学旅行生（中学校、高等学校）は、当機構のデータによると2002年（平成14年）の約24万人（※3）を最後に、2007年（平成19年）には、約19万人（※4）と20万人を下回り、直近の2019年（令和元年）には、約12.7万人（※5）と、最盛期に比べ約半分程度まで落ち込んでいる。

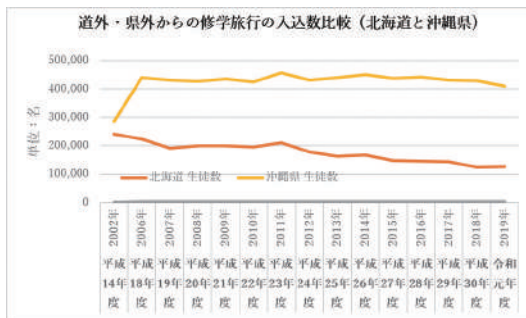
この間、17歳人口（高等学校の修学旅行対象年齢）が約19.7%も減少（※6）し、北海道への来訪減の要因の一つではあるが、これだけが原因ではないと思われる。

今や、修学旅行の入込数ナンバーワンを誇る沖縄県は、2002年（平成14年）に約29万人だった生徒数が、2007年（平成19年）には、約43万人まで大きく伸ばし、その後も40万人台をキープしている。（※7）

沖縄県はこれまで平和教育、体験観光（民泊）の促進を推し進め、かつ文化型観光の推奨を掲げ、ここまで数字を伸ばしてきた。2019年の沖縄県の国内観光客（入域）入込客数698万人に対し、修学旅行生は40.9万人（約5.9%）と全体の中でも大きなウエイトを占めており、旅行単価の安定した修学旅行は県内の経済波及効果も大きいといえる。また、訪れた学生は将来のリピーターにもつながる有益なおお客様でもある。

北海道も、2050年までのゼロカーボン北海道の実現やSDGsの取組は他県にはないポテンシャルを持っており教育旅行のプログラムとして期待される。コロナ後のインバウンド観光客の急激な回復が見込めない中、約20年前まで全国で一番多くの修学旅行生を迎え入れていた道内各地において、今一度、原点に立ちかえり地域での受入や誘客について真剣に検討を進めるべきであろう。また9年後には、北海道新幹線が札幌まで延伸される予定となっており、これまでほとんど実績のない南東北や北関東からも訪れることが予想されるからだ。

（※）出展参考 ※1～5北海道観光振興機構で調査（※3～5は大手旅行会社（6社）への調査結果（推計値）） ※6は総務省統計局調べ。 ※7は沖縄県（観光商工部・観光施策課）調べ。（沖縄県が取り扱い実績のある旅行会社に照会した数字。）



今年度の  
教育旅行支援事業

# 「北海道×観光」の検索および北海道観光公式サイトGoodDay北海道の利用状況からみる北海道観光への興味関心(検索行動)

## ■ 検索ボリュームからみる関心度(他都府県との比較)

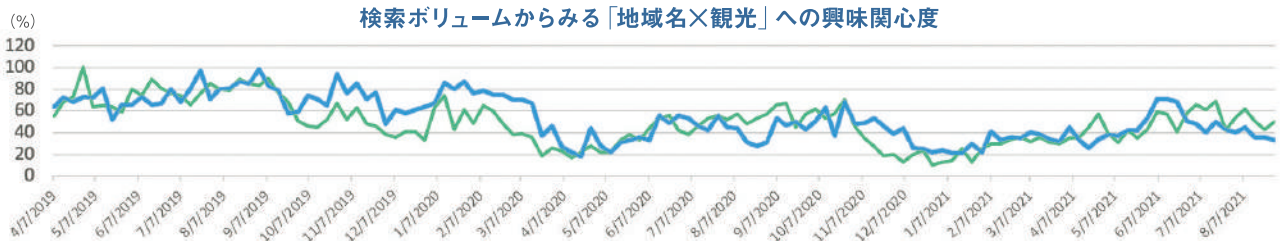
検索数予測ツールaramakijakeによると、直近の数字(時期は不明)として、「北海道×観光」の月間推定検索ボリュームは京都の約3分の1程度である。

Googleトレンドから見る検索ボリュームの推移では、令和3年4~5月は全体的に緊急事態宣言の発令により、検索行動は減少傾向であったが、7月~8月にかけて北海道が、沖縄の検索数を上回っており、北海道への関心が高まっていると言えます。

月間推定検索ボリューム

検索エンジン	Yahoo!	Google
北海道 観光	12,100	48,400
沖縄 観光	14,800	59,200
京都 観光	33,000	132,000
東京 観光	14,800	59,200
大阪 観光	18,100	72,400
東北 観光	2,420	9,680

出典:検索数予測ツール aramakijake



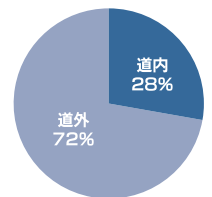
出典:Googleトレンド 集計対象期間:2019/4/1~2021/8/31

※集計対象期間中で一番検索数が多いデータを100%とし、それ以外のデータは(データ)÷(一番多いデータ)としてパーセンテージを計算。

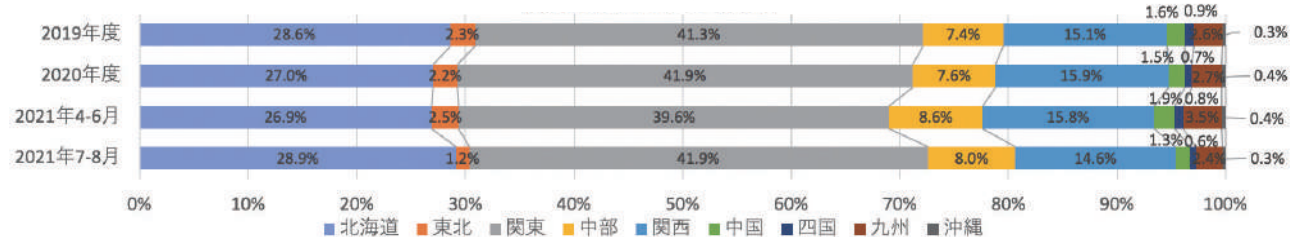
## ■ ウェブサイト「GoodDay 北海道」(日本語)の閲覧ユーザー情報から見る北海道に興味のある年齢層や地域

### ▶ 閲覧者の居住地傾向

当機構のウェブサイトGoodDay北海道の利用者全体のうち約72%は道外。道内が28%となっています。道外のうち、関東・中部・関西で約6割を占めます。令和3年4月~6月は、緊急事態宣言の発令を受け、関東が減少。一方、中部、九州、四国方面は増加したが、緊急事態宣言のエリア拡大により、7月~8月は、関東地方が一部回復したものの、8月の訪問者数は7月と比較して関東で2ポイント、関西と中部がそれぞれ0.8ポイント減少しました。



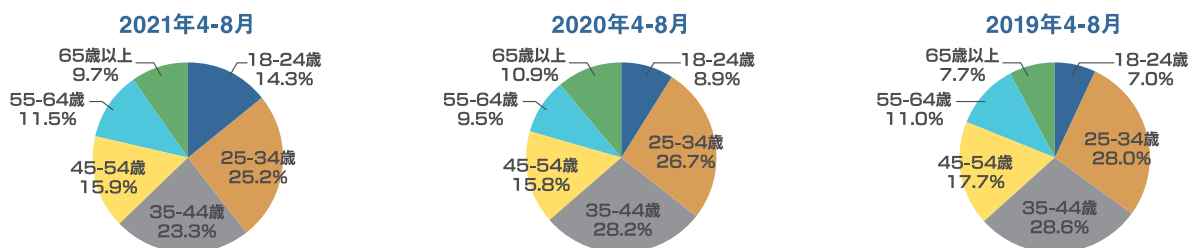
閲覧者居住地ブロック別割合



### ▶ 訪問者の年代

利用者の年代は2021年度(4~8月)で25~44歳で48.5%を占めます。コロナ前の2019年度と2020年度、2021年度をそれぞれ比較したところ、25~44歳のセッション数は、対同比で2020年度(4~8月)は約1.7ポイント、2019年度(4~8月)では約8.1ポイント減少しており、旅行・観光に対する興味・関心が少ない傾向となっています。

一方、「18~24歳」の年代は、2019年度(4~8月)に比べ、2021年度(4~8月)のセッション数が7.3ポイント、「65歳以上」の年代は、2019年度比で2ポイントそれぞれ増加しており、若年層、シニア層の旅行に対する興味・関心の回復の傾向がみられます。

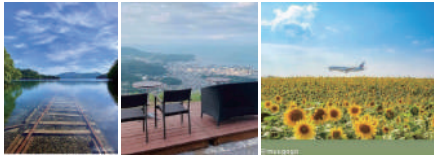


GoodDay北海道の年代別セッション数の推移(2019年度~2021年度・各4~8月)

# SNS「GoodDay 北海道」(日本語・英語・繁体字)の投稿情報から見る 旅行先の興味・関心、情報収集へとつながるスポット

## 日本語

対象アカウント  
Instagram  
@good\_dayhokkaido



## 英語・繁体字

対象アカウントFacebook  
https://www.facebook.com/visithokkaido.en  
https://www.facebook.com/visithokkaido.tw



### いいね数が多いコンテンツ

コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数
1 然別湖湖底線路	253,167	11,490	941
2 大空町ひまわり畑×飛行機	42,537	3,616	86
3 函館八幡坂	45,499	2,752	86
4 函館夜景の日に投稿	35,755	2,558	83
5 天狗山TENGUUテラス	42,486	2,548	261

### 記事保存数が多いコンテンツ

コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数
1 然別湖湖底線路	253,167	11,490	941
2 天狗山TENGUUテラス	42,486	2,548	261
3 美瑛青い池	10,130	682	249
4 明野ヶ丘公園ピ・ラリ	20,944	1,268	131
5 札幌大倉山展望台	17,235	1,325	125

### リーチ数が多いコンテンツ (英語)

コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数
1 函館公園桜	62,418	2,204	115
2 函館エリア	45,161	467	22
3 ファーム富田ラベンダー	42,570	1,743	118
4 北海道ガーデン街道	42,466	1,474	98
5 富良野・美瑛ノロコ号	41,696	593	23

### リーチ数が多いコンテンツ (繁体字)

コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数
1 然別湖湖底線路	1,494,871	48,941	1,947
2 積丹ブルー	396,346	11,682	401
3 ひがしもこと芝桜公園	378,177	12,102	693
4 美瑛駅前からの十勝岳	357,166	15,538	484
5 北電町ひまわりの里	282,491	10,807	514

### SNSの投稿から見る傾向

▷「アニメのワンシーンのような光景だ」と鹿道町然別湖の「湖底線路」の投稿は記事保存数900以上、いいね11,000以上を記録。期間中最も人気が高い。  
また、記事保存数では、今期オープンした新スポット小樽市「天狗山 TENGUU テラス」や幕別町の「明野ヶ丘公園ピ・ラリ」、大空町の「ひまわり畑×飛行機」などのスポットが人気である。

### ▷傾向

上記のほか、「美瑛の紅葉」や北海道にある異国のような絶景として紹介した札幌市「手稲前田森林公園」、松前町の「浮きあじさい」などもリーチ、保存数が高く、ガイドブックに定番で掲載されていない(まだあまり知られていない)スポットへの関心が高く、旅先への興味関心を高めたスポットである。

集計期間2021/4/1~2021/8/31

### SNSの投稿から見る傾向

#### 英語

▷リーチした人の国別順

マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポール、アメリカ

▷東南アジアについて、花の投稿は人気がある。

#### 繁体字

▷北海道の絶景や、季節の景色に人気がある。

▷縦長の一枚写真の投稿はインパクトが強く、反応が良い。

▷旬の北海道の情報に人気がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、北海道に来られない中、今の北海道の様子を知りたい台湾、香港人が多い。

▷「早く北海道に行きたい!」「綺麗!」等、好意的なコメントが多くて、訪日意欲が高い。

## キュンちゃんの小部屋



## 北海道の観光案内所



どさんこ旅サロン  
東京・東京交通会館3階

「どさんこ旅サロン」は、「北海道どさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にございます。(JR有楽町駅下車すぐ)  
道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所/東京都千代田区有楽町2丁目10-1  
東京交通会館3階  
営業時間/11:00~19:00  
定休日/土・日・祝、年末年始、施設の全館休業日  
問合せ/電話03-6206-3163



北海道さっぽろ観光案内所  
JR札幌駅西コンコース北口

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供致します。また、観光機構作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所/札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口 北海道さっぽろ「食と観光」情報館内  
営業時間/10:00~17:30 定休日/年中無休  
問合せ/電話011-213-5088  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観光案内窓口を休止する場合がございます。ご利用時は電話にてご確認ください。



## 北海道観光振興機構 LINE公式アカウント

北海道の旬な情報はこちらから! お友達登録が4万人を突破 (※令和3年8月下旬現在) キュンちゃんが道内各地を紹介中!

## 会員募集中!

入会申込みの詳細は、お問い合わせください。

GoodDay北海道WEBサイト内  
『北海道観光振興について』

https://www.visit-hokkaido.jp/company/recruitment/

## ■本レポートに関するお問い合わせ先

公益社団法人北海道観光振興機構 政策室  
〒060-0003  
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階  
TEL 011-231-0941 FAX 011-232-5064



# 地域の想いをアナタとカタチに 地域事業インキュベーション施設



キッチン



1人用ブース

# HOKKAIDO × Station 01

- Social Good Birth Hub -



セミナールーム



プライベートオフィス (6人用)



貸し会議室 (10名用)

ホッカイドウコネクテッドステーションゼロワン-ソーシャルグッドバースハブ-  
「HOKKAIDO × Station 01 -Social Good Birth Hub-」は北海道や全国の情報が集まり、発信していく施設として、コミュニティラウンジ (コワーキング) やセミナールーム (最大 50 名)、貸し会議室 (6 人用、10 人用)、プライベートオフィス (10 室) を備えています。コミュニティラウンジには地域産品や新たに開発された食品の試食会、バイヤーマッチング等に利用できる本格的なキッチンや、Web 会議等の需要に合わせた 1 人用ブースも 8 室あります。



コミュニティラウンジ

コミュニティラウンジ	利用料金	入会金
ドロップイン (一時利用)	660 円 / 1 時間 2420 円 / 1 日	なし
<b>月額会員</b>		
個人会員	17,600 円 / 月	11,000 円
自治体会員	17,600 円 / 月	22,000 円
法人会員	35,200 円 / 月	22,000 円
<b>セミナールーム (最大 50 席)</b>	5,500 円 / 時間	

貸し会議室	利用料金	入会金
6 名用	2,200 円 / 時間	
10 名用	3,300 円 / 時間	
<b>プライベートオフィス</b>	利用料金	入会金
2 人用	72,600 円 / 月	33,000 円
4 人用	145,200 円 / 月	33,000 円
6 人用	217,800 円 / 月	33,000 円

※表記は全て税込です。

2021年12月25日まで

この広告ご覧の方、**50%OFF**  
2時間まで 1,210円 → 605円  
1日ご利用 2,420円 → 1,210円  
※ご利用時に受付にお伝えください

HPはこちら  
<https://xstation.jp>



所在地:  
〒060-0005  
札幌市中央区北5条西5丁目1番地5 JR GOGO SAPPORO 6階  
TEL: 011-218-8601  
営業時間: 平日9:00~20:00、土曜日9:00~18:00、日祝休  
運営会社: 株式会社ジェイアール東日本企画 札幌営業所